



地元小学生に対し「環境学習会」を開催しました

筑後川下流右岸農地防災事業所

筑後川下流右岸農地防災事業所では、受益地(佐賀市・小城市・神埼市・吉野ヶ里町・上峰町・みやき町)の小学校を対象に、平成26年度から毎年環境学習会を開催しています。

本年度も、11月11日(火)にみやき町立北茂安小学校を対象に環境学習会を開催し、208名の児童(1年生、2年生)が参加しました。

はじめに、児童たちは体育館で、佐賀平野に広がるクリークの歴史や、佐賀平野の農業、クリークに棲む生き物について、事業所若手職員の発表により学習してもらいました。

続いて、生き物展示へ移動し、クリークに生息している生き物の観察を行いました。観察水槽やタッチプールに展示されたウナギやナマズのほか、貴重な絶滅危惧種である、貝の中に卵を産む魚の「ニッポンバラタナゴ」も展示することができ、生徒たちは水槽に入った生き物を観察したり、触ったりと興味津々な様子でした。

- ・この魚たちもクリークから見つかったの？
- ・魚に触ってみると、それぞれ違った感触だった！
- ・ドブガイっていう貝の大きさにビックリした！

最後に、小学校近くで施工中の工事現場にて、工事概要の説明、受注業者による施工機械のデモ操作、ドローンによる集合写真撮影を行いました。施工機械(ブロックマット吊り込み、地盤改良機による攪拌作業)が動くたびに大きな歓声があがり、普段間近で見ることのできない重機にも非常に興味を示していました。

※大人数の参加となり、ヘルメット個数が準備できなかったため、児童視察場所の安全確保を行ったうえで実施。

- ・(改良材で使用する)セメントって何ですか？
- ・誰が操作しているんですか？
- ・なぜブロックマットをする(置く)んですか？

当事業も令和12年度の事業完了を予定しているところです。生活に溶け込んでいるクリークについて、その歴史や役割、重要性のほか、環境保全意識の向上を図るべく、今後も環境学習会を通して、多くの児童達に学んでもらいたいと思っております。

